

＊ 来 聴 歓 迎 ＊

特 別 講 義

化学工学の視座(鳥瞰)

－気液混相流動、ナノ構造機能性材料、乾燥地緑化－

1920年代における化学工学の誕生から近年のバイオ、新材料開発および各種測定法およびコンピューター化学の取り込みまでを概観し、物事を大きく捉える視座（鳥瞰の視座）が化学工学の背骨であることを示す。次に、気液混相流動、ナノ構造機能性材料および乾燥地緑化について研究の視点と成果を概説する。

【講演者】 上山 惟一 先生

－大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻 教授－

【日時】 平成20年10月24日(金)

15:00～17:00

【場所】 電気系大講義室 A1棟001号室

世話人 化学工学専攻長 大嶋 正裕 (内線2666)